

1. 目的

大規模集客施設や繁華街等(以下「**大規模集客施設等**」)で突発的なテロが発生した場合の、利用者や通行人・従業員等(以下「**利用者等**」)の避難のあり方を検討する。

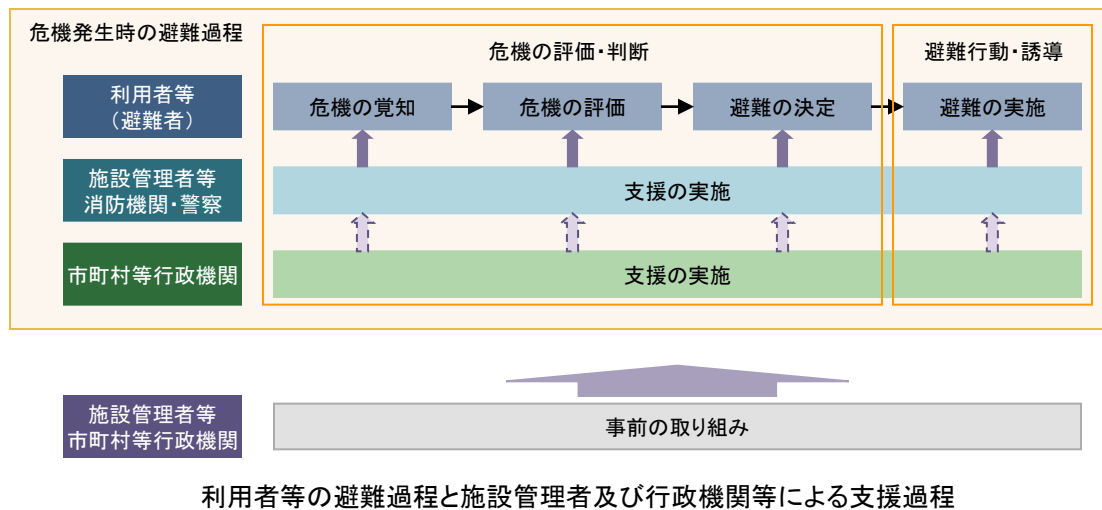
検討成果について、地方公共団体における国民保護計画の策定・改訂や国民保護訓練シナリオの作成等、施設管理者やイベント主催者等(以下「**施設管理者等**」)における避難計画の作成等に活用して頂くことを狙いとしている。

→ 報告書第1章

2. 調査研究の枠組み

大規模集客施設等におけるテロ発生時の**避難・避難誘導に関する課題と、施設管理者及び行政機関等が事前に取り組むべき事項**について検討するため、**(1)施設管理者の取り組み状況、(2)過去に発生した危機事例の調査**を行った。

→ 報告書第2章



(1) 施設管理者等の取り組み状況の調査

施設管理者等9者へのヒアリングを通じ、大規模集客施設等の危機対応計画、訓練、避難誘導、関係機関との連携等の現状を把握し、課題分析を行った。

→ 報告書第3章

【ヒアリング先】

- ・地下街管理運営会社
- ・高層ビル管理運営会社
- ・イベント会場管理運営会社
- ・警備会社 等

【調査分析の視点】

- 施設管理者等の事前の備え
- 関係機関との連携体制
- 危機発生時の利用者等の避難の考え方
- 課題認識、要望等について 等

(2) 危機事例の調査

過去実際に発生した**国内外の9事例**の調査を通じ、利用者等の避難過程、施設管理者等・市町村等行政機関による支援過程における課題を分析した。

→ 報告書第4章

【施設特性・事態特性】

- ①韓国大邱地下鉄火災(地下空間×火災)
- ②ロンドン同時爆破テロ(地下空間×爆発)
- ③地下鉄サリン(地下空間×化学剤サリン)
- ④WTC爆破事件(高層ビル、9.11の前例)
- ⑤9.11米国同時多発テロ(高層ビル)
- ⑥秋葉原無差別殺傷(繁華街、脅威残存)

【個別状況】

- ⑦三菱重工ビル爆破(犯行予告)
- ⑧明石市花火大会(群衆行動)
- ⑨JR福知山線脱線(支援者間連携)

【調査分析の視点】

- 利用者等の避難過程
- 危機の評価・判断、避難誘導の支援過程
- 支援者間の連携 等

3. 課題と対策(本調査の主な成果)

→ 報告書第5章

課題1 テロによる被害や対策に関する**具体的な情報や知見**の少なさ 【テロ特有】

【対策の方向性】

- 地震や水害等の**自然災害との共通点・相違点**の整理
- 海外における過去事例などの情報を施設管理者レベルで積極的に共有
- 発災直後の混沌状態から現場の統制までに必要となる一連の活動シナリオの整理

課題2 危機発生時の**行動判断**の曖昧性 【テロ特有】

【対策の方向性】

- 危機時の**対応優先順位**を定め、**テナントと施設管理者の間で認識共有**
《検討事項の例》 利用者の生命・健康/二次被害拡大防止/従業員の生命・健康/周辺地域の安心/施設の社会的信頼
- **行動原則の整備**
- 施設管理者の対応について**利用者の理解**を得る

→ 参考資料5「安全な避難のための10の原則」

課題3 不確実な状況下における**情報伝達**の困難性 【テロ特

【対策の方向性】

- 安全に避難を促すための**情報伝達のあり方**を検討し、広報文の雛形を作成
- 脅威を過小に見積もらないことと、利用者の混乱防止という**2つの側面のバランス**が重要
- **支援体制が整っていない段階で状況をありのままに伝達すると、利用者の不安感が増幅**することに留意

課題4 **二次汚染の拡大防止**への対応の困難性 【テロ特有】

【対策の方向性】

- 二次汚染の拡大による**社会的影響を軽減するための体制**を整備しておく。

CBR剤対応上の難しさ	二次汚染拡大防止のためのポイント
危機発生直後は原因の特定が困難	危険源から隔離する、換気を止める(地下空間)
利用者の安全を第一とする施設管理者の習性	危機時の対応優先順位や「10の原則」の周知徹底
不特定多数の利用者が自らの意思で行動する	施設内・外における誘導場所の事前検討 一時的に留まることの理解を得るための情報提供
被災者のトレースが困難	健康被害を軽減するための支援内容の情報提供 現場に居たことを証明する電話連絡先メモの配付等

課題5 **施設・設備**の充実化など対策レベルの判断の困難性

【対策の方向性】

- 避難誘導時の施設の**脆弱性の洗い出し**
《方法の例》 施設・設備の被災を前提とした訓練、群衆密度や避難時間のシミュレーション、BCP策定、消防法改正への対応等
- **費用対効果**を考慮した安全対策
- ハード面の脆弱性を**ソフト面の運用でカバー**(障害物除去、案内表示改善、脆弱な場所への警備員配置等)

課題6 多数の利用者等の**避難誘導を円滑に行うための体制**等の確保

【対策の方向性】

- 自力で移動困難な災害時要援護者等の避難誘導に際し**利用者間の協力・支援**を呼びかけ
- **施設管理者とテナントの連携、施設管理者間の連携**(エリア全体の対応方針の協議、合同訓練等)
- 警備会社等のプロの配置